授業科目　栄養教育論実習 II

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	健栄
斎藤　トシ子	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

1．栄養アセスメント、情報の分析、問題点の把握、栄養教育プログラム作成までの作業を行い、個人及び小集団への栄養教育プログラム作成に必要な基本的な技術を修得する。

2．ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育プログラムの作成・実施・評価のために必要な基本的な技術を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．小集団の状況及びニーズに応じた栄養教育の技術を身につける

2．模擬患者の問題点を抽出し、ニーズに応じた個別教育の技術を身につける

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	小集団教育・個別教育計画の立案、準備（アセスメント内容の検討⇒情報収集⇒問題点の抽出⇒教育カリキュラム・指導案・教材の作成⇒プレテスト）	1,2	実習
2	同上	1,2	実習
3	同上	1,2	実習
4	同上	1,2	実習
5	同上	1,2	実習
6	同上	1,2	実習
7	同上	1,2	実習
8	小集団教育の実施（グループごと）	1	実習
9	同上	1	実習
10	個別教育の実施、ケースカンファレンス	2	実習
11	小集団教育の実施（グループごと）	1	実習
12	同上	1	実習
13	個別教育の実施、ケースカンファレンス、評価	2	実習
14	小集団教育実施内容の評価、発表	1	発表
15	同上	1	発表

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

1．小集団の状況及びニーズに応じた栄養教育を行うことができたか、2．模擬患者の問題点を抽出し、ニーズに応じた個別教育を行うことができたかを、実習状況及び報告書をもとに、総合的に評価する。

出欠、実習への意欲・積極性も評価に加える。

【履修上の留意点】